

さきたま

埼玉県鍼灸師会は厚生労働大臣免許保有者でつくる県内唯一の「はり師」及び「きゅう師」専門の公益社団法人です。

第227号

令和8年9月1日
発行

公益社団法人 埼玉県鍼灸師会
会長 山口 智

事 務 所

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-3-1
第2大矢部ビル 2F東

TEL 048-645-0416

HPアドレス <https://saitama-harikyu.com>

事務所メールアドレス saishinkai@gold.ocn.ne.jp

〈広報委員長〉 阿 部 琴 美

〈編集委員長〉 大 谷 尚 子

〈編集委員〉 岩 倉 史

行事予定表

9月
27日(日) 療養費等個別指導会

10月
11日(日) 埼鍼会第2回学術講習会
15日(木) オンラインサロンー彩ー
25日(日) 療養費等個別指導会

埼玉県鍼灸師会の活動

狭山・入間・飯能地区「健幸まつり」報告

6月21日(日)に ひだかアリーナで開催された「日高市 健幸まつり」では、はり体験コーナーを設け、会員の森孝史先生、浅見誠先生、松田梢恵先生(他3名)が施術を行いました。総勢124名の方に体験をうけていただき、そのうちの63名が鍼の施術をはじめて体験するという方でした。また、はり師・きゅう師が国家資格ということを25名の方が知りませんでした。とてもよい鍼灸普及の場になったと思います。



所沢地区「みかじま健康まつり」報告

6月21日(日)に みかじままちづくりセンターで開催された「みかじま健康まつり」では、鍼灸体験コーナーを設け、会員の原澤清一先生、小川登先生、室谷将人先生が施術を行いました。総勢23名の方に鍼灸体験をうけていただきました。会場には柴山昌彦衆議院議員も来場されていました。



オンラインサロンー彩ーの開催について

7月16日(木)に開催予定だったオンラインサロンー彩ーは、都合により開催を延期させていただきました。次回の開催詳細は下記の「オンラインサロンー彩ーの開催のお知らせ」をご覧ください。

「呉竹祭」鍼灸体験コーナー

7月19日(日)に大宮呉竹医療専門学校で開催された学園祭「呉竹祭」にて、鍼灸体験コーナーを設け、会員13名で鍼灸施術を行いました。総勢108名の方に体験施術をうけていただきました。保護者の方などはじめて鍼灸を受ける方も多く、また体験にくる在校生もいてとても盛況に開催できました。



川越地区 ほうろく灸体験会

7月26日(日)に 川越の本応寺で「ほうろく灸体験会」を開催しました。ほうろく灸とは、夏の土用の丑の日にお寺で無病息災や暑氣払いを願って行われる伝統的なお灸・祈祷です。ほうろくと呼ばれる素焼きの皿を頭の上のにせ、その上でもぐさを燃やして行います。4回に分けて47名の方にほうろく灸の体験をうけていただきました。お灸をうけながらご祈禱もうけていただき、終わった後に御札をお渡しして終了となりました。じんわり熱くなる感じがとても好評で、来年もまた受けたいとお声も沢山いただきました。



会員の高橋雅明先生、大塚仁先生、秋山敏彦先生、石田憲重先生、小川進司先生、小里雄一先生、大谷尚子先生、阿部琴美先生、岩倉史先生が施術を行いました。

(公社)埼玉県鍼灸師会 令和8年度第2回学術講習会のご案内

テーマ:「経絡治療の源流を体感する」
～伝統の技と経絡治療の真髄を学ぶ1日～
日 時:令和8年10月11日(日)13:00～17:00
会 場:大宮呉竹医療専門学校
(埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目185-1)
※1ヶ月間のアーカイブ視聴あり

講習会タイムテーブル:

13:00～14:00 「経絡治療の成立とその展開」
講師:橋本 厳先生(経絡治療学会 学術部長)
座長:菊池 友和先生(埼玉鍼灸学会 副会長/埼玉県鍼灸師会 学術委員長)
認定単位:1単位

14:10～ 「経絡治療の真髄」
講師:馬場 道敬先生(経絡治療学会 副会長)
座長:小泉 智裕先生(小泉漢方堂鍼灸院 院長)、
橋本 厳先生(経絡治療学会 学術部長)
※本講演は認定指定C講座の単位対象外です。

14:40～ 総会

15:10～ 実技1「経絡治療の源流」
講師:馬場 道敬先生(経絡治療学会 副会長)
座長:小泉 智裕先生(小泉漢方堂鍼灸院 院長)

15:10～ 実技2「経絡治療の実際」
講師:橋本 厳先生(経絡治療学会 学術部長)
座長:堀部 豪先生(埼玉医科大学病院 東洋医学科)

16:10～ 実技1・2 繰り返し(同時スタート)

17:30～ 懇親会(予定)

参加費:

●埼玉鍼灸学会会員、埼玉県鍼灸師会会員、埼玉県鍼灸マッサー
ジ師会会員:2,000円

●一般学生(大学院生・教員養成科):500円

●埼玉県鍼灸師会育成学生 大宮呉竹医療専門学校の学生:無料

●関連団体会員(全日本鍼灸学会、日本鍼灸師会、埼玉県鍼灸師
会会員の従業員など):3,000円

●一般:5,000円

申込先:<https://mosh.jp/Saishinkai/home>

申込み締切日:定員になり次第受付終了(当日参加可)

お問い合わせ先:埼玉鍼灸学会 学術委員会

E-mail:ssam.jimukyoku@gmail.com

共催:(公社)埼玉県鍼灸師会/(公社)埼玉県鍼灸マッサージ師会



第21回 (公社)日本鍼灸師会 全国大会 in 兵庫のお知らせ

テーマ:「つながる鍼灸 ひらく未来」～神戸から世界へ～
日 時:令和8年10月3日(土)～4日(日)
会 場:公益社団法人こうべ産業・就労支援財団 神戸市産業振興センター
(兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号)

参加費:●会員・準会員…12,000円

●一般…15,000円

●学生…5,000円

●学生団体(5名以上)…2,000円

お問い合わせ先:

第21回(公社)日本鍼灸師会

全国大会in兵庫 事務局

E-mail:hyogo.am@gmail.com

(事務局長 西口静江)



旬の食べ物を食べて元気になるう!



今回の旬の食べ物は、秋の味覚を代表するきのこのひとつ「舞茸」です。見つけた人が思わず舞い踊るほど喜んだことから、この名がついたという説があるほど、昔から貴重なきのことして珍重されてきました。特に天然の舞茸は希少で、山の中で見つけると大きな株の周りを囲んで喜んだともいわれています。現在は人工栽培が盛んになり、年間を通して手に入るようになりましたが、天然ものの旬は秋。主な産地は新潟県、福岡県、静岡県などで、香りがよく、歯ごたえのある食感と豊かなうま味が魅力です。天ぷらや炊き込みご飯、炒め物、汁物など、さまざまな料理で楽しめます。

栄養面では、食物繊維やビタミンB群、カリウムなどを含み、特にきのこ類に多いβ-グルカンも豊富です。また、ビタミンDのもととなる成分も含まれており、カルシウムの吸収を助ける働きが期待されます。

東洋医学の食養生では、舞茸を含むきのこ類は、体の余分な水分を排出し、胃腸の働きを整える食材として考えられています。夏の暑さで疲れた体をいたわり、秋の乾燥した季節へ向けて体調を整えるのにも取り入れたい食材です。

秋の深まりとともに香りを増す舞茸。炊き込みご飯や汁物など、温かい料理に取り入れて、季節の恵みを味わいながら、秋の養生を楽しんでみてはいかがでしょうか。

協賛各社
(順不同)

セイリン株式会社・株式会社医道の日本社



・ホシノ医療器株式会社



・ヨシダ商事



・株式会社メイプル名古屋



・株式会社ファロス



アフラック募集代理店 株式会社むらた・株式会社山正



・日進医療器株式会社

